

勝海舟顕彰会

[TOKYOどんぶらこ「本所吾妻橋編」](#)

[両国高校版「ようこそ先輩」](#)

[勝海舟「クリーンウォーク」](#)

[TOKYOどんぶらこ「向島編」](#)



木内先生の同級生も聞き耳を立てる



海舟ミニチュア像を置いて講演

都立両国高校創立八十周年記念事業の一環として、公開講座「ようこそ先輩」に、同校出身の勝海舟銅像作家木内禮智氏による第一回講座が開かれ、勝海舟の銅像制作秘話が語られた。木内氏は銅像作者七百人もいる中で選ばれた光栄を感謝、まして自分が育った両国で、それも海舟の生家近くに住んでいて、興味、関心もあり制作も勝海舟の銅像を建てる会のメンバーとは、じっくり話し合い自分のイメージとも合致し、一気に出来上がったと言う。

「勝海舟の銅像を建てる会」が銅像除幕式後解散し、現在「勝海舟を顕彰する会」廣田健史会長、元建てる会理事数人が当時を思い起こし、感慨深く拝聴した。

両国高校の第一回「ようこそ先輩」を今後とも応援すると共に益々の発展を祈るものである。

案内状

公開講座「ようこそ先輩」へのお誘い
～講師：木内禮智さん～

うだるような“猛暑”も過ぎ、いくらか秋の気配を感じさせる今日この頃ですが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと拝察いたしております。

さて東京都立両国高校定時制課程は、今年創立80周年を迎えます。

学校、保護者、同窓会で組織する「記念事業実行委員会」では、記念事業の一つとして、各分野で活躍されている先輩を招き、NHKの「ようこそ先輩・両国高校版」を開催する事になりました。

その第1回目として、昨年墨田区役所「おおい」広場に「勝海舟の銅像を建てる会」によって建立された像の制作者、木内禮智さん（昭和26年の卒業生）を向かい「勝海舟の銅像の制作について」講義をしていただく事になりました。

授業は公開で行なわれますので、是非皆様にも聴講下さるようご案内いたします。

日時：9月22日（水）18:40～19:30

会場：都立両国高校体育館

JR総武線「錦糸町」駅から徒歩約10分

墨田区江東橋1-7-14 TEL:03-3631-1815

創立80周年記念事業実行委員会

勝海舟を顕彰する会

勝海舟クリーン・ウオーク

昨年7月海の日に、皆様方のご厚情により隅田河畔に勝海舟の銅像を建設、除幕式を挙げてから早いもので1年が過ぎようとしております。そこで建設1周年を記念し、7月19日「勝海舟クリーン・ウオーク」を開催致しました。墨田区出身の英雄・勝海舟の銅像を中心として、小中学生に勝海舟の認知度を深めることと、勝海舟を顕彰する会の結団式を執り行い、式典のなかで墨田区内小中学生に勝海舟の伝記本・写真額の贈呈、旧「勝海舟の銅像を建てる会」会長・日本大学名誉教授鶴沢義行氏による勝海舟の青春像と銘打って小中学生にわかるように講演。式典後銅像ならびに周辺の清掃を行い、各方面の方々が銅像への献花を行い終了致しました。



廣田代表世話人の挨拶



山崎墨田区長の挨拶



勝海舟写真額・伝記本の贈呈



鶴沢先生の勝海舟の青春像を熱心に聞く参加者

向島



向島という、料亭や三味線を思い浮かべる人がいるかもしれない。小堀に「戀しの森や枕」とあって、枕橋を渡ると花街、というイメージがある。いや、桜並木だ、百花園だと言っているのだぞ。隅田川の堤に桜を植えたのは徳川吉宗だから、三百年の伝統がある。

今、町名として残る向島と東向島は、墨田区役所の北側から隅田川の東岸に沿って白鷺橋あたりまでだが、江戸時代には江戸の中心市街地からみて隅田川の向こうの牛島、寺島あたり一帯の総称だった。現在の向島のさらに東側の押上だつて、昔は向島押上断だった。かなり広範囲

を指すから、人によって向島のイメージが違つのはもつともだ。向島には名の知れた人の足跡が豊富に残っている。森田外も幸田露伴も堀江兼也もここに住んだ。江戸東京史の宝庫といつていい。

榎本武揚は晩年、向島に邸を定め、墨堤をよく散歩したらしい。榎本武揚は下谷御徒町(今の台東区)の、榎木の家で生まれた。幕府留学生としてヨーロッパで四年半にわたり商船術や科学技術、国際法を学んだ。幕府御軍の一員として戦つた。

キストを「燃やすのは惜しい。この本は日本の役に立つ」と言軍の黒田清隆に贈った話は、殺伐とした維新戦争のなかで二服の清涼剤だ。敗戦で死を覚悟したが投獄二年半で許され、新政府で働くことになった。日本政府はロシアや清国と領土問題で紛争を抱え

TOKYO どんぶらこ



青山 信

●●126

江戸と東京 墨堤は語る

榎本武揚は晩年、向島に邸を定め、墨堤をよく散歩したらしい。榎本武揚は下谷御徒町(今の台東区)の、榎木の家で生まれた。幕府留学生としてヨーロッパで四年半にわたり商船術や科学技術、国際法を学んだ。幕府御軍の一員として戦つた。

キストを「燃やすのは惜しい。この本は日本の役に立つ」と言軍の黒田清隆に贈った話は、殺伐とした維新戦争のなかで二服の清涼剤だ。敗戦で死を覚悟したが投獄二年半で許され、新政府で働くことになった。日本政府はロシアや清国と領土問題で紛争を抱え

もりでいた。将軍徳川慶喜が鳥羽伏見戦争で敵軍に、海軍の大將である勝海舟は和平交渉に忙殺され、榎本武揚が旧幕府軍の代表として箱館戦争を戦うことになった。新撰組の土方歳三と最後まで一戦だった。

五植郭で最後の戦いを経た後、大切にしていた国際法のテキストを「燃やすのは惜しい。この本は日本の役に立つ」と言軍の黒田清隆に贈った話は、殺伐とした維新戦争のなかで二服の清涼剤だ。敗戦で死を覚悟したが投獄二年半で許され、新政府で働くことになった。日本政府はロシアや清国と領土問題で紛争を抱え

